

令和元年8月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

## 一般調査報告書 上海の歴史散策スポットについて

夏の観光シーズンもいよいよ本番を迎え、上海には連日世界中から多くの観光客が訪れており、市内の観光名所はいずれも大変な賑わいを見せています。特に、豫園（よえん）や外灘（わいたん）、南京路といった有名観光地は、曜日や時間帯によっては混雑がひどすぎて満足に歩くこともままならないといった日もあるほどです。

そこで今回は、混雑する有名観光名所の喧騒から少し離れて、静かにゆっくりと観光できる上海市内の歴史散策スポットを2か所ご紹介したいと思います。

### 1. 宋慶齡故居

まず1つ目は、宋慶齡故居（そうけいれいこきょ）。中華民国の国父と呼ばれた孫文の妻、宋慶齡（そうけいれい）が人生の中で最も長い時間を過ごしたと言われる住居を保存する施設です。

宋慶齡は、清朝末期から中華民国の建国、中華人民共和国の成立に至る中国の激動の歴史の中に生き、中国近代史に大きな影響を与えた人物です。その生涯については、映画「宋家の三姉妹」（1997年香港・日本合作）にも詳しく描かれています。

宋慶齡故居は、旧フランス租界の一角の閑静なエリアにある2階建ての瀟洒な造りの洋館です。入口の門をくぐると、まず宋慶齡の像が訪れる人を出迎えてくれます。宋慶齡像のすぐ後ろには関連資料を展示する博物館があり、そこには宋慶齡の残した文書や手紙、写真などが展示してあります（残念ながら訪れた日は改装工事中でした）。その隣には、かつての邸宅（故居）があります。この建物は宋慶齡が暮らした当時そのままの家具や調度品が残され、その静かで優美な生活の一部を垣間見ることができます。建物内は土足禁止のため、来館者は靴の上から靴カバーを履いて建物に入る必要があります。内部は写真撮影も禁止されています。

建物を出てさらに敷地の奥に進むと、そこは中庭です。広い芝生の庭があり、高い塀と緑の木々に囲まれ、そこに立つと自分が上海の都心にいることをすっかり忘れてしまうような静かな空間が広がっています。

宋慶齡は三姉妹の次女でした。長女の宋靄齡（そう あいれい）は大財閥の孔

祥熙（こう しょうき）の夫人、三女の宋美齡（そう びれい）は蒋介石の夫人でした。当時の映画のクレジットにもあったように「一人はお金を愛し、一人は権力を愛し、一人は中国を愛した」と言われた宋家の三姉妹。混乱を極める近代中国の黎明期に、三者三様の生き方で時代を駆け抜けた一族の歴史に思いを馳せながら施設を散策してみるのはいかがでしょうか。



入口脇にある宋慶齡像



宋慶齡の暮らした邸宅

宋慶齡故居（そうけいれいこきよ）

所在地：上海市淮海中路1843号

開館時間：9:00～16:30（祝日を除く月曜休館） 料金：大人20元/人 ほか

## 2. 上海ユダヤ難民記念館

2つ目は、上海ユダヤ難民記念館です。外灘の北部、かつての日本人居留区の一部は、1933年から1941年にかけてナチスの迫害を逃れて上海にやってきた約3万人のユダヤ難民が居住した無国籍難民の居留区でした。

記念館は、このエリアにある比較的こじんまりとした博物館です。施設は3つの建物で構成されています。

1号楼は、この地区に当時からあったユダヤ教会（シナ・ゴーク）を修復保存した施設で本館にあたります。1階はユダヤ教会、2階と3階は展示スペースで、3階にはナチスによるユダヤ人迫害の歴史や「アンネの日記」で知られるアンネ・フランクの紹介展示などがあります。

2号楼は上海とユダヤ難民に関する歴史の紹介展示です。ここでは、当時ウィーンに赴任していた中国の外交官で、中国のシンドラーと呼ばれる何鳳山（かほうざん）の功績を称える紹介パネルなどがあります。

3号楼では、上海の居住区でのユダヤ難民の暮らしや終戦後の中国との交流エピソードなどについて紹介されています。

いずれの建物も小さな博物館ですが、係員のガイド（英語又は中国語）を聞きながらじっくり回ると40～50分はかかり、なかなか見ごたえのある施設です。館内は写真撮影が許されており、見学はガイドなしでも可能です。

以前は日本のシンドラこと杉原千畝に関する説明展示もあったようですが、現在は一切ありません。そうした歴史表現の違いに思いを巡らせながら見学するのも面白いかもしれません。



記念館入口



1号楼外観



ユダヤ教会



1号楼2階の展示スペース

### 上海ユダヤ難民記念館

所在地：虹口区長陽路62号

開館時間：9:00～16:30（元旦及び春節は休館） 料金：大人20元/人 ほか

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。